

Σ 計算基本方針【二項係数の2乗和】

n を正の整数とすると、以下の間に答えよ。

- (1) $(1+x)^{2n}$ を展開したときの x^n の係数を n を用いて表せ。
 (2) $\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2$ を n を用いて表せ。

【戦略】

- (1) 二項定理によって

$$(1+x)^{2n} = {}_{2n}C_0 + {}_{2n}C_1 x^1 + {}_{2n}C_2 x^2 + \cdots + {}_{2n}C_n x^n + \cdots + {}_{2n}C_{2n} x^{2n}$$

なので、 x^n の係数は ${}_{2n}C_n$ であることが分かります。

- (2) 完全に経験がモノをいいますが、

$$(1+x)^{2n} = (1+x)^n (x+1)^n$$

と見てやります。

右辺は

$$({}_n C_0 + {}_n C_1 x + \cdots + {}_n C_k x^k + \cdots + {}_n C_n x^n) ({}_n C_0 x^n + {}_n C_1 x^{n-1} + \cdots + {}_n C_k x^{n-k} + \cdots + {}_n C_n)$$

となり、これを展開したときの x^n の係数について考えます。

$$\left(\begin{array}{c} \text{---} \\ + {}_n C_k x^k \\ \text{---} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{---} \\ + {}_n C_k x^{n-k} \\ \text{---} \end{array} \right)$$

と展開したときに ${}_n C_k {}_n C_k x^n$ という x^n の項が現れます。

つまり、 x^n を含む項は

$${}_n C_0 {}_n C_0 x^n + {}_n C_1 {}_n C_1 x^n + \cdots + {}_n C_k {}_n C_k x^n + \cdots + {}_n C_n {}_n C_n x^n$$

$$= \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 \right) x^n$$

ということになります。

この x^n の係数は (1) で考えた x^n の係数と一致しますから

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = {}_{2n}C_n \text{ ということになり、解決です。}$$

【解答】

- (1) 二項定理より

$$(1+x)^{2n} = {}_{2n}C_0 + {}_{2n}C_1 x^1 + {}_{2n}C_2 x^2 + \cdots + {}_{2n}C_n x^n + \cdots + {}_{2n}C_{2n} x^{2n}$$

ゆえに、求める x^n の係数は ${}_{2n}C_n = \frac{(2n)!}{(n!)^2} \dots \text{圈}$

- (2) $(1+x)^{2n} = (1+x)^n (x+1)^n$

$$= ({}_n C_0 + {}_n C_1 x + \cdots + {}_n C_k x^k + \cdots + {}_n C_n x^n) ({}_n C_0 x^n + {}_n C_1 x^{n-1} + \cdots + {}_n C_k x^{n-k} + \cdots + {}_n C_n)$$

これを展開したときの x^n についての項は

$${}_n C_0 {}_n C_0 x^n + {}_n C_1 {}_n C_1 x^n + \cdots + {}_n C_k {}_n C_k x^n + \cdots + {}_n C_n {}_n C_n x^n$$

$$= \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 \right) x^n$$

(1) より、 x^n の係数は $\frac{(2n)!}{(n!)^2}$ であるから、

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \frac{(2n)!}{(n!)^2} \dots \text{圈}$$

【総括】

二項係数についての Σ 計算なので、基本は二項定理の活用という方針です。

ただし、

$$(1+x)^{2n} = (1+x)^n (x+1)^n$$

と見て、左辺と右辺の x^n の係数を見比べるという方針については経験がモノをいいます。

初見かつノーヒントでは厳しいでしょう。